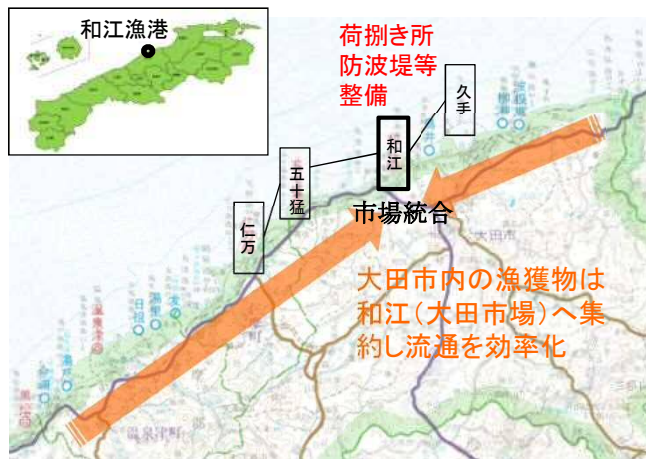


島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和3年 6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
1	(事業名・地区) 和江地区 水産基盤整備事業 (事業位置) 大田市静間町 (事業費) 3,612,810 千円 (事業概要) 防波堤 L=155m 泊地 A=2800 m² 岸壁 L=62m 道路 L=516m 駐車場 A=4510 m² 荷捌き所 N=1 式 浄化施設 N=1 式 (事業主体の根拠) 県管理漁港のため (再評価区分) ②事業採択後 10 年を経過している継続中の事業 (担当部課名) 農林水産部 水産課	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：H24 年度 工事着手年度：H24 年度 完了予定年度：R8 年度 経過年数： 10 年 (進捗状況と今後の見込み) ・進捗状況 R2 年度末実績 進捗率：71.4% ・整備済み施設 (和江本港) 荷捌き所、浄化施設、駐車場、道路、第二沖防波堤、西防波堤 (五十猛分港) 岸壁・護岸 ・未整備施設 和江本港の新沖防波堤新設及び外防波堤改良、五十猛分港の泊地新設が残っている。 和江本港の新沖防波堤については R3 年度より現地着手し、R8 年度の完成を目指す。 外防波堤及び五十猛分港の泊地については R8 年度の現地着手・完成を目指す。	(事業導入の経緯・目的) 和江漁港は県西部では浜田漁港に次ぐ重要な流通拠点である。平成 24 年 4 月に和江漁港と五十猛漁港を統合し、機能分担を考慮した新たな漁港として効率的な整備、利用、維持管理を進めている。 和江、五十猛、久手、仁万の 4 市場の統合による集出荷の一元化に合わせて効率的な水揚げ体制を構築し、漁業就業環境の改善をはかるため、荷捌き所及び防波堤等の整備をするものである。 (事業を取り巻く社会情勢) 市場流通機能強化のため、平成 25 年 9 月に 4 市場が和江に統合された。 (事業に対する地元情勢・計画の熟度) 市場統合により更に活気づくことが期待されるが、担い手不足の傾向にあることから、就業環境改善につながる水産基盤のさらなる強化が望まれる。	(費用対効果) b / c = 2.26 (コスト削減・代替案等) 静穏度解析シミュレーションに基づき整備効果の高い施設の配置計画とした。 (その他の効果) 港内静穏度の向上により地元漁船の環境改善のみならず、外来漁船の誘致につながり、市場の活性化が期待される。 また、漁業者の就業環境改善につながることから、担い手確保に貢献する。	(生活環境・自然環境への影響) 新沖防波堤の構造については防波堤の一部を、海水交換を促す透過式とすることにより、水質環境に配慮した構造としている。 また防波堤整備箇所近辺については、ワカメを主体とする藻場が存在するため、海藻の着床を促す溝付き消波ブロックを採用することにより藻場の復元に配慮している。 なお、防波堤の新設により港口の閉鎖性が高まるため、航路周辺の堆砂シミュレーションを行い堆砂影響について検証している。 (事業を中止した場合の影響) 防波堤等の整備がされない場合、荷捌き所への陸揚げ時に波浪の影響を受けながらの作業を強いられ、流通機能強化の前提となる効率的な水揚げに支障が生じ、これまでの周辺整備による投資効果が発現しない恐れがある。 また港内静穏度が改善されず、安全な航行・停泊に支障が生じる。	(方針案) 継続 (継続の理由) 産地市場を有する流通拠点の整備により、漁業活動の効率化や魚価の安定、さらに漁業者の労働環境の改善による担い手確保などへの効果が期待できる。 以上により本事業は水産業の振興に深く寄与することから、引き続き継続整備が必要である。

和江地区水産基盤整備事業



漁港の概要

和江漁港は、県西部では浜田漁港に次ぐ重要な流通拠点である。平成25年に4市場の統合が行われ流通の効率化が図られた。また同年供用の高度衛生管理型荷捌き所により、徹底した衛生管理が行われ、魚価の安定・向上に取り組まれている。

事業の概要

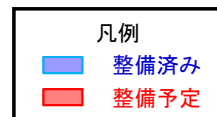
市場統合にあわせた荷捌き所及び防波堤等の整備により、流通機能強化・就業環境改善をはかり、安全で安定的な水産物の供給体制を構築する。



冬季風浪時の波浪状況



冬季風浪時の波浪状況



凡例

整備済み
整備予定



費用便益分析の結果

地区名	事業名	事業種別	事業主体
和江地区	水産流通基盤整備事業	補助金	島根県

①費用 [億円]

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和3年度		
単純合計	36.13	0.79	36.92
基準年における 現在価値 (C)	38.52	0.47	38.99

②便益 [億円]

	水産生産コストの 削減効果	漁獲物付加価値化 の効果	漁業就業者の 労働環境改善効果	合計
基準年	令和3年度			
供用年	令和8年度			
標準年間便益	2.27	1.18	0.006	3.46
基準年における 現在価値(B)	57.17	30.69	0.11	87.97

③結果

費用便益費 (B/C)	2.26
経済的純現在価値 (B-C)	48.98億円
経済的內部収益率 (EIRR)	12.19%